

8月、葉月です。

旧暦では秋なのですが、木々の緑の色が最も濃くなる季節かもしれません。中高では夏休みまっさかり、大学はやっと夏休みに入ったところです。夏休みは今休みではなく、生徒は補講、就活中の大学生にとっては本番でゆっくり休みを満喫するという風情は無くなってきた感があります。先生方にとっても研修の季節。今年もネットワークでは「夏休みの経済教室」を名古屋、大阪、東京で開催します。

そんな季節、今月もネットワークの活動を報告するとともに、授業に役立つ情報を提供いたします。

【1】最新活動報告

7月の活動を報告します。

【2】イベントカレンダー

これからの活動の予定などを紹介します。

【3】授業のヒント

【1】最新活動報告

7月に行われた部会の様子を報告します。

■大阪部会 (No. 44) を開催しました。

日時：2015年7月4日(土) 18時00分～20時00分

場所：同志社大学 大阪サテライト

内容の概略：出席者は10名で、うち、2名が東京部会からの参加者でした。

(1)野間敏克先生(同志社大学)から、経済教育ネットワークの最近の活動報告がありました。

(2)河原和之先生(立命館大学講師等)から、最新の「地理と経済の融合教材」の進捗状況が報告されました。今回は、琵琶湖を取り上げた教材で、それについての紹介と検討がなされました。教材としての活用性、経済の視点の入れ方など、生徒の興味や理解が深まる教材にするための関する多くの意見が出されました。

(3)東京からの特別参加である升野伸子先生(筑波大学附属中学校)より、たこ焼き屋をモデルとした「生産のしくみと企業」単元の教材が紹介されました。この教材は、たこ焼きの売上高、製造原価などを数値例を計算しながら、生産と生産要素との関係をつかむところからはじめ、「考えてみよう」で生徒への問いかけを通して、公民のいくつかの分野に話を広げることができるよう工夫された教材です。

実践報告のあと、この授業に基づいて作成中の頒布用教材「たこ焼き屋ヤッキー」も紹介されましたが、升野先生授業実践の明確さや面白さに比べ、その意図が十分に反映されておらず、再検討することになりました。

(4) 山本雅康先生（奈良学園中学校高等学校）から、2014年に大幅改訂された「国際収支統計」について、最新の高校教科書（現代社会、政治・経済）の記述をチェックした結果が報告がされました。記述は変更されているけれど、定義が大きく変わった「金融収支」や「資本移転収支」についての記述には、間違いがみられるといくつかの例が指摘されました。

(5) 西村理先生（同志社大学）から、野村総合研究所「NRI 学生小論文コンテスト 2015」等の紹介がありました。

内容の詳細は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka44report.pdf>

【 2 】 イベントカレンダー

*これからのイベント、9月以降の部会（開催順）を紹介します。

■夏の経済教室がはじまります。

8年目の「先生のための夏の経済教室」が3日の名古屋を皮切りにはじまります。13日、14日の東京高校は定員となり、申し込みは締め切っています。他の会場はもうすこし余裕がありますので、ぜひ知り合いの先生などをお誘いの上、ご参加ください。

(1) 日程と申し込み数（7月29日現在）

8月3日名古屋（中）62名　4日（高）65名

8月6日大阪（高）94名　7日（中）101名

8月13日東京（高）239名　14日 210名

8月17日東京（中）178名　18日 154名

(2) 講師と講義内容の変更

名古屋、大阪、東京中学の部で予定されていた、野間敏克先生（同志社大学）の「教科書で教える労働」の講義が、安藤至大先生（日本大学）に変更になります。タイトルは変更ありません。

(3) 申し込みは以下の東証のHPから受け付けています。

<http://www.jpx.co.jp/learning/seminar-events/seminar/03.html>

*9月以降の部会予定です。(一部既報)

■東京部会 (No. 77)を開催します

日時：2015年9月5日(土) 14時00分～16時30分

場所：日本大学経済学部(予定)

参加方法などは以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo077flyer.pdf>

■札幌部会 (No. 14)を開催します

日時：2015年9月12日(土) 14時30分～17時00分

場所：キャリアバンク セミナールーム

札幌市中央区北5条西5丁目7番地 sapporo55 5階

参加方法などは以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/Sapporo/Sapporo014flyer.pdf>

■京都部会 (No. 30)を開催します

日時：2015年9月18日(金) 19時00分～21時00分

場所：同志社大学 良心館4階第二共同研究室

参加方法などは以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/kyoto/kyoto030flyer.pdf>

■大阪部会 (No. 45)を開催します

日時：2015年9月26日(土) 18時00分～20時00分

場所：同志社大学 大阪サテライト(予定)

大阪市北区梅田1-12-17 梅田スクエアビルディング17階

参加方法などは以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka45flyerRR.pdf>

■名古屋部会 (No. 3)を開催します

日時：2015年10月17日(土) 15時00分～17時00分

場所：椋山女学園大学 現代マネジメント学部棟3階 303講義室

参加方法などは以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/nagoya/Nagoya003flyerR.pdf>

*関連団体の情報です

■2015年度 NRII 学生小論文コンテストのご案内

10回目になる、野村総合研究所の小論文コンテストです。高校生の部、大学生・留学生の部があります。

本年度のテーマは、世界に向けて未来を提案しよう！2030年に向けて
—「守るもの」「壊すもの」「創るもの」です。

高校生の部の締め切りは、9月14日。

<https://www.nri.com/jp/event/contest/gaiyo/index.html>

■金融広報中央委員会「先生のための金融教育セミナー」のご案内
(2015/8/11～12)

児童・生徒や大学生に、おかねとの正しい関係を伝え、現実社会を
生きる力を育むために、金融教育について考えるためのセミナーです。
基調講演や鼎談、実践発表やワークショップなどを通じて、金融教育の
実践に向けた手がかりを紹介するものです。

<http://www.shiruporuto.jp/event/2015/15semi/>

■金融広報中央委員会「金融教育に関する小論文・実践報告コンクール」
のご案内

(1) 第48回「おかねの作文」コンクール（中学生）

(2) 第13回「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール

この二つは、中学生と高校生向けの作文、小論文コンクールです。

どちらも締め切りは、9月20日。

<http://www.ron2015.jp/>

(3) 第12回「金融教育に関する小論文・実践報告コンクール」

12回目になる先生方の向けのコンクールです。小論文部門、実践報告部門、
研究部門の三部門があります。締め切りは、9月30日。

<http://www.ron2015.jp/pdf/tc.pdf>

■第38回 授業のネタ研究会 IN 関西

とき 2015年8月23日 9:35～17:00

ところ 高津ガーデン（大阪上本町 北東徒歩5分）

<http://www.econ-edu.net/announcement/neta/38th%20Neta%20.pdf>

【 3 】 授業のヒント

■「三匹の子ぶた」から機会費用を教える

「三匹の子ぶた」は法教育で有名な教材です。それを今回は、経済教育でも
読み解いてみましょう。学ぶ項目は機会費用です。

機会費用は、何かを選択した時に放棄したなかで一番価値のあるもの、すなわち
セカンドベストを含んだ経済的費用のことです。

経済の基本概念で、経済学習の最初に登場するのですが、なかなか理解しにくい概念です。
というのは、この機会費用、選ぶものが二つの場合なら、選ばなかったものになり、当たり前

じゃんということになります。

でも、三つ以上になると何を価値判断の基準とするかによって額がちがってくるし、そもそも見えない部分をくみいれて費用とするという発想そのものを理解するのが結構難しいことになります。

「三匹の子ぶた」では、長男、次男、末っ子の三人が登場します。オオカミ対策でそれぞれ家を建てますが、長男はわら、次男は木、末っ子はレンガの家を建てることになりました。この時、わらの家は100円、木の家は200円、レンガの家は500円の建設費用がかかるとすると、経済的費用はいくらになるでしょうというのが質問です。ただし、長男はわら>木>レンガ、次男は木>わら>レンガ、末っ子はレンガ>木>わらを選好するとします。

長男、100円+200円=300円が経済的費用（機会費用）を投じます。

次男、200円+100円=300円が経済的費用（機会費用）です。

末っ子、500円+200円=700円が経済的費用（機会費用）となります。

この時、だれが一番合理的かは、オオカミの襲撃がどのくらいの被害を与えるかの見込みによります。例えば、その被害が500円分だとすると、長男と次男は、被害想定額よりも少ない費用しか投じていないので、被害の方が多くなります。つまり、家を吹き飛ばされてしまう。

末っ子は、被害想定額より多くの費用を投じて対策をたてていますから、安全と言う訳です。

もし、オオカミの襲撃被害が丁度700円分だったらどうなるでしょうか。これは、経済学的には無差別（どちらでもよい）ということになります。だから、オオカミは煙突から忍び込もうとするわけです。

700円を1円でも超えていたら、オオカミの勝利でレンガの家も「想定外」で吹き飛ばされることになります。こんな話にはなっていませんね。

このように、私たちは想定される収益（この場合は被害）予想と、投下した費用、この時の費用は目に見える費用だけでなく、放棄した部分も含めた経済的費用（機会費用）を比較して、どれだけ消費したり投資したりするかを考えます。

見える費用だけで物事を考えてはダメだよという、ちょっと単純だけれど大切な考え方を「三匹の子ぶた」から、経済の授業では引き出すことができそうです。

数値例だけは不満足な向きには、ここからいろいろなストーリーを考えてみてください。

三匹の家の建設費用はどう調達したのか。原作（英国版）では、出会った人に材料を

もらったことになっていますが、それはあり？ それとも、遺産相続？兄弟なかよく
だったのか？家の費用以外に兄二人は、相続したお金を何に使ったのか？などなど。

ちなみに、法教育では、「三匹の子ぶた」の兄二人はオオカミ食べられて、末っ子は、
オオカミを煮て殺してしまいます。その時、末っ子には、オオカミ殺しの殺意があったのか、
それとも過剰防衛だったのかを考えさせるというちょっとおそろしい話「殺オオカミ事件」
になっています。

(新井)

【 4 】編集後記 (みみずのたはこと)

姫岡玲二と言って分かるのはかなりの高齢者が歴史マニアでしょう。その姫岡玲二
こと本名青木昌彦さんが先日亡くなりました。ゲーム理論を駆使した比較制度分析の
業績で有名です。昨年刊行された『青木昌彦の経済学入門』ちくま新書、のなかでの
京都大学での学生向けの講演が掲載されていますが、それは若い人への遺言だったの
かもしれません。一読あれ。(新井)

=====
登録に心当たりのない方、今後配信を希望されない方は下記会員ページよりお
手続き下さい。

<http://www.econ-edu.net/aboutus/contact.html>

=====
◆◇

編集・発行 : 経済教育ネットワーク

————— (C) Network for Economic Education ◆◇